

2013年度 第5回の整数論セミナー

日時：2013年5月17日（金）16:30～18:00

場所：〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1
早稲田大学西早稲田キャンパス（旧・大久保キャンパス）
61号館4階413室（61-413）

講演者：小木曾 岳義（城西大学）

タイトル：「非概均質的局所関数等式について」

アブストラクト：

局所関数等式とは2つの多項式のペアが満たす、Fourier変換が関係した等式で、そこから大域ゼータ関数の関数等式のガンマ因子が得られるなど数論的な意味のあるものである。

このような多項式のペアは正則概均質ベクトル空間とその双対空間（これもまた正則概均質ベクトル空間であるが）のそれぞれの基本相対不変式のペアから系統的に得られており、また、そういうものしかないのではないかと、少し前まで、思われていた。

2007年に佐藤文広氏によって示された局所関数等式の遺伝定理によって、ある条件を満たす2次写像によって局所関数等式が pull back されて新たに別の局所関数等式が得られることが分かった。

ここでは、最近の佐藤文広氏との共同研究によって、実際に系統的に新しい局所関数等式を構成し、その多く（ほとんど）が非概均質的局所関数等式であることを紹介したい。